

パンフレット番号	問合せ先	電話番号
20631-82	株式会社クイックパック	0564-59-3525

## 板そば

山形県は明治から昭和初期まで養蚕が盛んでした。養蚕は、蚕が繭を作るときが一番忙しく、知人や近所の人たちの手を借りていました。その労をねぎらい、酒と「大きな箱板に盛り付けた手打ちそば」を振舞ったのが板そばの由来といわれています。



**檜・板そば(身・竹ス) 大(塗装付) 精量**  
 20-082-01(21439) 7,630円  
 約44×20×H5cm  
 ※竹スタレ(約39.5×17.8cm)付 ※竹箄はイメージ

**Super EX**  
 スーパーEX仕様

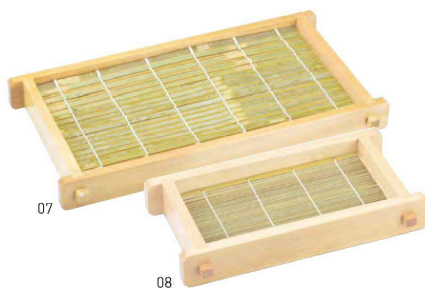
**杉・板そば(竹ス付) 精量**  
 20-082-02(18181) 7,800円  
 約39.5×18.8×H4cm  
 ※竹スタレ(約27.5×17cm)付 ※スーパーEX塗装 ▶ P22参照  
 ※陶器はイメージ

**焼杉・板そば(身・竹ス) 精量**  
 20-082-03(21441) 大(塗装付) 6,980円  
 約44×20×H5cm ※竹スタレ(約39.5×17.8cm)付  
 20-082-04(21437) 小(塗装付) 5,240円  
 約32.2×18.2×H3.8cm ※竹スタレ(約27.5×16.5cm)付

**檜・板そば(身・竹ス) 精量**  
 20-082-05(21438) 足付(塗装付) 7,200円  
 約34.5×18.5×H5.5cm ※竹スタレ(約32.2×16.3cm)付  
 20-082-06(21436) 小(塗装付) 6,080円  
 約32.2×18.2×H3.8cm ※竹スタレ(約27.5×16.5cm)付  
 ※写真の名入れはイメージです。  
 ※名人代別途見積

## へぎそば

「へぎ」とはそばを入れる「木製・浅底の四角い箱」のことで、昔は板を「剥いで」作っていて、この「剥ぐ」が「へぐ」という風に訛って、いつしか「へぎ」と呼ばれるようになりました。布海苔(ふのり)と呼ばれる海藻を使って打ったこのそばは、新潟県の小千谷市が発祥とされています。



**底板付へぎセイロ**  
 20-082-07(21269) 大(塗装付) 14,450円  
 約50×27.5×H5cm ※竹スタレ(約42.5×22.5cm)付  
 20-082-08(21269) 小(塗装付) 8,650円  
 約32×18×H5cm ※竹スタレ(約24.5×13cm)付  
 ※竹ス付



**白木・へぎセイロ(底ザンタイプ)**  
 20-082-09(21059) 大(塗装付) 12,450円  
 約50×27.5×H5cm ※竹スタレ(約42.5×22.5cm)付  
 20-082-10(21059) 小(塗装付) 7,270円  
 約32×18×H5cm ※竹スタレ(約24.5×13cm)付  
 ※竹ス付



※07-08底板が一体となったタイプです。

※09-10底ザンタイプです。

板そばへぎそば

調理道具  
せいろ

鍋  
フクロ

うどん  
そば

竹製品

銀彩  
金彩

弁当

椀  
飯器

皿  
料理箱

盛込

ピラフェ

珍味  
小鉢  
入

酒  
の器

演出小物

紙製品

卓上用品

陳列備品

注意

品名検索

番号検索